

令和7年度 第5回東郷町地域ケア推進会議

日時	令和8年3月26日(木) 午後2時から午後3時30分まで
場所	東郷町民会館2階 大会議室
出席者	<p>委員 ※敬称略、順不同</p> <p>制野 司 有識者（学校法人柳城学院）</p> <p>松浦 誠司 医師（東名古屋東郷町医師会）</p> <p>横井 昭博 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部）</p> <p>佐藤 裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会）</p> <p>福島 美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護ステーション連絡協議会）</p> <p>柳 ゆかり 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会）</p> <p>森本 美香 暮らし健康部 成人保健推進室</p> <p>磯村 達己 東郷町社会福祉協議会</p> <p>早川 孝志 東郷町北部地域包括支援センター</p> <p>荒川 和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑</p> <p>村井 良則 有識者（東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこ）</p> <p>池田 寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし）</p> <p>半田 清春 東郷町民生委員児童委員連絡協議会</p> <p>近藤 俊樹 東郷町民生委員児童委員連絡協議会</p> <p>朝倉 隆行 居宅サービス関係（メドック東郷）</p> <p>松山 陽二 居宅介護支援事業所（もみの木）</p> <p>小島 通範 住民代表（第1号被保険者）</p> <p>海老原 由美 住民代表（第2号被保険者）</p>
欠席者	<p>岡田 伸一 施設サービス関係（愛厚ホーム東郷苑）</p> <p>古橋 完美 瀬戸保健所 健康支援課</p>
傍聴者	0名
事務局	<p>福祉こども部長</p> <p>高齢者支援課課長（進行）</p> <p>高齢者支援課の職員 4名</p>
議題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p>第10期高齢者福祉計画策定に係るアンケート結果報告について【資料1及び参考資料1～2】</p> <p>3 議題</p> <p>令和7年度事業進捗状況の報告及び令和8年度事業計画（案）について【資料2-1～2】</p>
配布資料	<p>会議次第</p> <p><b>資料1</b> 第10期東郷町高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書【抜粋版】</p> <p><b>資料2-1</b> 令和7年度進捗状況及び令和8年度事業計画（案）【抜粋】</p> <p><b>資料2-2</b> 地域ケア推進系の事業について 高齢者の介護予防を中心に</p>

	<p><b>資料3</b> 承認後調査票変更箇所</p> <p><b>参考資料1</b> 第10期東郷町高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書</p> <p><b>参考資料2</b> 東郷町認知症に関する団体・支援者ヒアリングシート調査【調査結果報告書】</p> <p><b>参考資料3</b> 第10期東郷町高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査結果報告書（追加分）</p>
--	---

## 1 あいさつ

## 2 報告事項

### (1) 第10期高齢者福祉計画策定に係るアンケート結果報告について

事務局	資料説明。 <b>資料1</b> <b>資料3</b> <b>参考資料1</b> <b>参考資料2</b>
委員長	ただいまの説明について、質問・意見はあるか。
委員	29ページの「(3) 居宅サービスの中で供給が不足していると感じているサービス」で、「訪問介護」の回答が多い。自分は、東郷町は訪問介護が充実していると思っていたが、訪問介護のニーズが増えたのが原因か。
事務局	上昇した理由だが、東郷町では施設の介護給付があまり伸びておらず、逆に居宅のほうが伸びている傾向にある。また、有料老人ホームが増えてきており、その利用者が訪問介護を使うので、その需要が高くなっていると考えられる。
委員	訪問介護は要介護者と要支援者もすべて入っているのか。
事務局	ケアマネジャーが不足と感じているサービスなので入っている。
委員	自分のところも訪問介護をやっているが、要介護者の訪問介護は減っているので、不思議に思った。事業所も増えていると思う。その代わりに、要支援者の訪問介護は、引き受ける事業所が少ないので増えている。
委員長	感覚的に違うと思うが、このような結果が出ている。それと同じように、35ページの「(1) 職員数の過不足はありますか。」で、過不足がないという回答が増えているが、事業所的にはどうか。
委員	施設によって違うと思うが、自分のところは人員不足していない。ただ60歳以上が多い。
委員長	それは経験者ではないのか。
委員	経験者である。ほかの事業所が60歳、65歳定年にしているので、働き場所を求めて来たのだと思う。そのほかに不足していない理由として、外国人の特定技能の方を積極的に採用していることがあると思う。
委員長	今は技能実習生より特定技能のほうが多いか。
委員	そうである。
委員長	事業所によって過不足感は異なりそうだが、結果として人材が不足している事業所が減少していることはいいことだと思う。不足があると回答している事業所が6～7割と多ければ町として施策を打っていく必要があるので、今回の結果はありがたいことである。

	ほかにも疑問を感じる数字があると思うが、いかがか。
委員	20 ページの「4. 認知症施策について」の「(2) 地域生活において認知症の人が尊重され、本人が望む生活が継続できているか」について、自分や家族に認知症がいても、いなくても、「いいえ」の数字が変わらない。「(3) 東郷町は認知症の人が自分らしく暮らせるまちか」も同じ結果である。つまり、認知症を経験しても、していなくても、東郷町は本人が望む生活ができず、自分らしく暮らせないまちと感じているということになるので、そのあたりが課題と思う。
事務局	13 ページに認知症の理解度について聞いているが、近年、認知症に対する捉え方が変わってきており、本人意思を尊重するようになってきている。家族が認知症の方を見ていて、思いがある方が「はい」と答えるのか、まだまだと感じて「いいえ」と答えるのかの2パターンがあると感じている。理解も施策も含めて、よりよいものにしていく必要があると思っているので、次期計画に向けて、皆さんと一緒に考えていければと思う。
委員長	(2) は現状で、(3) は期待も含まれていると思うが、サービスへの理解や町の問題に対する具体的な施策で、数字はいいものになってくると思う。 ほかにないようなら、「2 報告事項」は以上とする。それでは次の「3 議題」に入らせていただく。「(1) 令和7年度事業進捗状況の報告及び令和8年度事業計画(案)について」、事務局より説明をお願いします。

### 3 議題

#### (1) 令和7年度事業進捗状況の報告及び令和8年度事業計画(案)について

事務局	資料説明。資料2-1 資料2-2
委員長	今の事務局からの説明について、ご質問・ご意見があればお願いします。
委員	あるケアマネジャーさんから、モニタリング結果で補助を受けられなくなる場合が出てくると聞いたが、本当か。
事務局	低栄養が事業対象となるので、事業決定から3カ月、その後は1年1回、定期的にアセスメントすることになる。その中で低栄養状態でないと判断されると補助はうち切られる。
委員	低栄養は何か指標があるのか。
事務局	指標自体があるわけではないが、例えば、買い物や調理が自身でできる、や認知状態などの総合評価になる。
委員長	他にないようなら、この形で進めていただきたいと思うので、了承いただきたい。それでは「3 議題」は以上とする。ご意見感謝する。それでは事務局に進行を返す。
事務局	続いて、事務連絡をおこなう。次回の地域ケア推進会議は、令和8年5月を予定している。改めて開催の案内をお送りする。 以上をもって、令和7年度第5回東郷町地域ケア推進会議を終了する。長時間にわたりご審議いただき、感謝申し上げます。

以上